

令和元年（2019年）度 第8回日本科学教育学会研究会（四国支部開催）プログラム

[テーマ]科学教育温故知新

[日時]令和2年（2020年）5月23日（土）

[会場]オンライン開催

[日程]

8:30～ 9:20 受付（発表者接続確認テスト）

9:20～ 9:30 開会

9:30～10:50 研究発表1

10:50～11:00 休憩

11:10～12:30 研究発表2

12:30～12:35 休憩

12:35～13:00 四国支部総会

13:00 終了

* 1研究発表あたりの持ち時間は年会の一般研究発表に倣い20分（発表15分、質疑応答5分）です。

[研究発表]

研究発表1

座長 服部裕一郎（高知大学）

A01 9:30～ 9:50 思考ツールによって可視化された思考の比較による学習過程の分析 —中学校2年「天気とその変化」の授業分析—

○森光司（高知大学大学院総合人間自然科学研究科，中城満（高知大学教育学部）

A02 9:50～10:10 誤概念の混乱を排除した理科指導の在り方 —小学校第四学年「すがたを変える水」の授業分析—

○中城満（高知大学教育学部），石原将司（高知大学教育学部附属小学校）

A03 10:10～10:30 水の状態変化と水蒸気爆発を理解するための教材の作成

○野村祐子（消防大学校消防研究センター）

A04 10:30～10:50 数学的モデリング教材としての過渡現象

○猪本修（兵庫教育大学）

研究発表2

座長 中城満（高知大学教育学部）

A05 11:10～11:30 高等学校数学における行列の教育について

○及川久遠（西日本工業大学）

A06 11:30～11:50 生徒が自ら批判的思考を働かせるための数学学習の工夫の導出

○山下司（鳴門教育大学教職大学院生），佐伯昭彦（鳴門教育大学）

A07 11:50～12:10 授業設計プロセスを特徴づける設計者集団の条件と制約の解明に向けて

○早田透（鳴門教育大学），溝口達也（鳥取大学），松寄昭雄（埼玉大学），真野祐輔（広島大学）

A08 12:10～12:30 算数・数学における系統的な折り紙教材の開発研究（III）—無限等比級数の視覚化—

○松原和樹（中央学院大学），服部裕一郎（高知大学）